

新入職員紹介&異動のお知らせ



この4月から社会福祉士として着任いたしました新田と申します。これまでは相談員やケアマネージャーとしてお仕事をしてまいりました。今までの経験も踏まえつつ、初心に立ち返って新たな気持ちで、地域の様々な活動のご支援をさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

新田 純子

6年半もの間、お世話になり、上の子どもが小学生から中学生になりました。月日がたつのは早いものだと実感しております。国の示す地域包括ケア構築の大きな流れのなか、地域の方々にも支えていただき、さまざまなことを体感し学ばさせていただきました。配慮不足であったり、段取りもよくなかったりとご迷惑もおかけしたことと思います。大変ありがとうございました。この経験を糧に、微力ながら福祉・介護・医療の架け橋になれるような存在であれたらと思います。ありがとうございました。

佐藤 幹子



よろしく
お願いします



みなみ風の だより

京都市左京南地域包括支援センター通信



- ◇鈴木 豊子 (センター長、主任介護支援専門員)
- ◇田中 京子 (看護師)
- ◇新田 純子 (社会福祉士)
- ◇片岡 智子 (社会福祉士)
- ◇奥田 敏雄 (主任介護支援専門員)
- ◇日西 行雄 (介護支援専門員)
- ◇中村 佳歩 (介護支援専門員)

今年度は、佐藤社会福祉士の異動に伴い、新しく新田社会福祉士を迎え、7名の職員でスタートです。
包括センターの業務も、年々多岐にわたり、ますます地域の諸団体・地域役員さん・ケアマネジャー・介護事業所の方々との連携・共同の営みが増え、その重要性は大きくなっています。今年度は、昨年開催できた6団体の「認知症サポーター養成講座」に加え、新たに近隣のマンションでの開催、新たな取組として、左京南でも「行方不明認知症高齢者への声掛け訓練」「SOSネットワークづくり」に取り組みます。また、「はなカフェ」3号店の開店など、居場所づくりも考えています。みなさま、昨年度同様よろしくお願い致します。
センター長 鈴木豊子

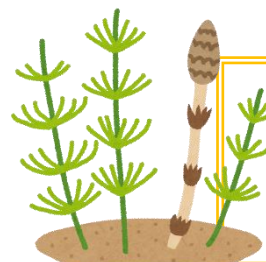
～皆さん一緒に運動しましょう！～公園体操



毎週決まった曜日の決まった時間、みんなで体操しています。岡崎公園では桜の木の下、「おはよーございます！」という濱先生の聞きなれた始まりの挨拶に続いてみんなで体を動かします。少し動いていると冬なら体はぽかぽか。脳トレの入った体操はどきどき・わははとみんなで和やかにやっています。ほんの30分くらいの体操ですが、朝の空気を感じながら、会場まで行って、みんなでする体操は格別ですし、毎週続けて元気も維持できます。

他にも、吉田中大路広場、吉田児童館前広場、頂妙寺で行なっています。

さあ、皆さん是非一緒に！



第22号 平成28年4月日発行
 <発行者>京都市左京南地域包括支援センター
 京都市左京区川端通り夷川上る新生洲町97番地
 Tel 771-6300 fax 771-6299

27年度Ⅰの個別地域ケア会議は、8回開催。認知症による行方不明をどう地域といっしょに防ぐか、個別のプランに沿いながら、アイデアの交換もしました。妄想のある方に対して保健センター・医師にも参加していただき、少しずつ工夫・改善もできています。Ⅱの各学区での地域ケア会議は、2回ずつ10回の開催。27年度は、学区により内容は少し異なりますが、例年行っている見守り名簿の摺合せと気になる単身高齢者の方の情報交換、ケアマネさんといっしょに事例紹介や地域役員さんの活動についても学び、顔の見える関係づくりをすすめました。吉田学区では、継続している「防災」要援護者対策について、他の学区の社協・民協の会長さんにも参加していただき、この間の取り組みについて学び、意見交換をしました。聖護院学区では、民協を中心に「おたっしゃ健診」という足腰どっしり度、記憶力・注意力はつきり度、栄養・筋力しっか度を知る健診内容を学び、28年度にお試しコーナーを設けた老人の集いを開催しようと協議しています。

吉田



川東



新洞



聖護院



岡崎



1st ANNIVERSARY
はなカフェ

吉田はなカフェ

昨年10月に仁王門はなカフェ、12月に吉田はなカフェ、いずれのはなカフェも無事1周年を迎えました！また、仁王門は主催を包括から学区社協へ移行しました。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください！おいしいおやつをご用意してお待ちしておりますよ。問い合わせは包括センターまで。

仁王門はなカフェ



27年度は、「認知症」をテーマに2回開催しました。第1回目は27年10月1日80名の参加。MCI軽度認知症について学習し「どうしたら早期に気づき、必要なサービスや支援に結び付けられるか」をテーマに10グループに分かれて意見交換をしました。現在各団体等が開催しているすこやか学級・サロンやはなカフェなど居場所づくりをもっと旺盛にできたらいい、特別な病気ではなく健康診断として気づけばいいなあなど意見があり、Ⅳの左京区の地域ケア会議にも意見としてあげると同時に、各学区の地域役員さんと具体化し取組開始しています。



第2回目は、2月18日に73名の参加。認知症高齢者の行方不明時における早期発見を可能にしようと、すすんだ取り組みをされている、岩倉地域包括支援センターの松本センター長から考え方や取組の仕方などをお聞きし、各学区2グループの10グループに分かれ『声かけ訓練』の企画書づくりを行いました。医師会長の出木谷先生が参加の岡崎グループは、活発な論議になったようで、発表も一番に挙手されるなどわいわい楽しく開催できました。

注目!

実施日：4月(町内総会の際)
第1回：20日 掃除の後
第2回：11日 声かけ訓練(2-3人)
自治連の会長(見慣れている)
声のかかり方について講習(事前検閲(録音禁止))
市電に乗ったかた...という設定
同笑：掃除の周りと一緒に回覧
必子とそがー性懸命になれば親も考えます
自治連の目標に認知症サポートを入れる。
回覧の時に冊子などを入れ、アピル

SOSネットワーク会議を開催します！

第2回目の地域ケア会議で皆さんに作って頂いた10の企画書を参考に、**6月23日15時から川端診療所の生健会ホール**をお借りして第1回左京南SOSネットワーク会議を開催します。また、この4月より、行方不明となることが心配な認知症高齢者について、普段からどのように見守り、支援していくのかを一緒に考えることができるきっかけとなる事前登録制度が始まりました。地域の皆さんにご協力を頂くことも増えると思いますので、よろしくお願い致します！



